

こころが聞きたい

一般質問

問

次代を担う子供たち

いのか。

の健やかな成長を願

いのか。

い、安心して学べる環境

登校の児童・生徒がいると

くりの実現を推進していく

思うが、実態はどうか。

ことが重要であると考え

町では1名だが、これで十

が、近年、社会構造及び経

分と言えるのか。

済情勢の変化に伴い、核家

族化の進行、夫婦共稼ぎ家

族の増加、学校と塾通い、

身分か、各学校に配置され

帰宅してからもまた勉強、

ているのか。

勉強と追い回される中に、

断片的知識のみがあっても、

教育長

① 広報活動は特

人間性を豊かにするための

に行っていないが、学校だ

理性と教養に欠如し、そう

より等を活用、あるいは常

した中から子供が非行に走

に学級担任、学校すべてで

る傾向が強いようである。

どんな子供たちがいるのか

次代を担う青少年を健全

の把握に努めている。不登

に育成することは、家庭、

校はさまざまな状況にある

議員

② スクールカウンセラーの

しながら、研修会がどんな

形でやれるのか検討したい。

③ 潜在的ないじめによる不

登校の児童・生徒がいると

9件で、そのうち204件

が不登校に関する相談であ

る。相談者の数は児童生徒

が41・2%、教職員が36・

9%、保護者が14%、そ

他7・8%となっている。

④ カウンセラーの配置は本

町では1名だが、これで十

議員

⑤ 心の教室相談員はどん

な身分か、各学校に配置さ

れているのか。

成15年度が12名、今年度は

現在6名である。

② スクールカウンセラーの

相談件数は平成15年度25

9件で、そのうち204件

が不登校に関する相談であ

る。相談者の数は児童生徒

が41・2%、教職員が36・

9%、保護者が14%、そ

他7・8%となっている。

スクールカウンセラーの活動実態とその成果は

杉山晴夫議員

成15年度が12名、今年度は現在6名である。

スクールカウンセラーを

中心とした取り組みや、学

校全体で取り組む体制づく

りによって、不登校の児童

生徒が徐々にではあるが登

校できるようなったケー

ス、初期段階での手早い対

応により不登校にならなか

ったケースなどもあって、

不登校の児童生徒数は近年

減少している状況にある。



「まっく・ざ・まっく研究所」でカウンセリングをする山根さん



た形の中で相談を受けて

いる状況である。

年は札幌内中学校を拠点校と

してスクールカウンセラー

1名が配置されている。

北海道におけるカウンセ

ラーの配置は7・5%、60

人で、約190校で勤務し

ているが、そのうちの1つ

が幕別町である。幕別町は

拠点校方式であるから、札

内中学校に席を置きながら